

日本ペスタロッチャー・フレーベル学会 関西地区研究会

日時；平成 22 年 3 月 6 日（土）13 時～17 時 40 分

場所；大阪大学中之島センター・4F 兵庫教育大学サテライト

参加者；石川道夫、柏原栄子、宍戸健夫、田岡由美子、松川礼子、劉蓮蘭

欠席者；浅野俊和、酒井玲子、荘司泰弘、渡辺満

（敬称略、あいうえお順）

[研究会の主旨]

2009 年秋スタートの日本 PF 学会の課題研究は、テーマを「子育て支援」とすることになった。教育理論、教育史的な研究に重点を置いてきた本学会が、時代や社会が求めている重要な課題に取り組んでいくという画期的な研究テーマであり、2012 年に政府が予定している幼保一元化を見据えて「子育て支援」の在り方を学会としてどのように提言していくかが大きな課題となる。東京地区、広島地区の課題研究委員会は、東京地区が昨年末、広島地区は、既に 12 月上旬に開催、3 月末に第二回の研究会が予定されている。

座長：石川委員

1. 各参加者のこれまでの関心の在り様と今回の共同研究で寄与できそうな課題・研究テーマについてお話頂きたい。

◎石川：「屋根裏の子どもたちとフレーベル」

○コルチャックからどのように子育て支援を考えていくのか

- ・孤児；戦争の中での孤児、家庭の中で見捨てられた子どもの視点から次世代育成能力という立場で子育て支援を考えていく。

○屋根裏部屋とフレーベル

- ・孤児列車（orphan train、アメリカの大都市部の孤児、浮浪児を西部の人口過疎地方に送って里親を探そうとしたキャンペーン。駅ごとにホームに孤児を並ばせて人身売買のように子どもを選ばせた。）
路上の孤児（赤毛のアン；孤児の里親周旋）
- ・19 世紀までは、子どもの価値は低く、家庭内でも屋根裏部屋がその居場所だった。映画「サウンド・オブ・ミュージック」でも同様。子どもを隔離し、おもちゃをあてがって放置するという生き方と正反対の極にあるのが、フレーベルの「母の歌と愛撫の歌」という見方はできないだろうか。お母さんと一緒にクッキング、工作づくりが今、雑誌等で取り上げられているがそれはフレーベルの見解と一致する。

◎田岡：地藏盆と地域、地藏祭りとフレーベルの子どもたちの祭り

○京都周辺に今も残る地藏盆の行事・習慣は、子どもの遊びのフレーベルの「遊び祭り」の意義と相通じるものがある。

○子どもが遊ぶ空間；森の幼稚園(Waldkindergarten)

- ・デンマークで1950年代それ以前に始まり、1990年代にドイツに輸入されて、ラインランド地方で広まっている。日本でもTVで紹介されたりなどして、関心を持つ人も少なくない。幼稚園の園舎を持たず、里山の森のようなところで1日を過ごす。松川委員からデンマークのものに関連があるのかどうかスウェーデンにも、ムッレ教室という自然教育の伝統があるとのこと。ムッレは土壌を意味する言葉で、森の中にいる妖精のこと。

◎劉；上海の子育て支援

○上海の実情

- ・1976年毛沢東の文化革命で、中国社会は大きく社会制度の変革をしたが、1980年代から伝統的な文化が徐々に回復、復活してきている。

「三字経」(子どもの識字教育も含めた教科書みたいのもの。中国古人による3字句、4字句からなる漢字組合わせの素読により知的訓練の教材として活用。暗唱文集とでもいったようなもの。日本でもこれをまねたようなものもある。)幼稚園に文化要素を取り入れる。

○上海における「子育て支援」

- ・上海の子育て支援は早くからプロジェクトが始まった。今から10年前中国にとっては時代の先端にたっていた。劉さん自身そのプロジェクトのメンバーだった。中国においてはそれまで幼稚園の位置づけは教育現場の中でかなり低いものであった。この調査は、0歳から6歳までの就学前教育を対象。この子育て支援は上海大学、北京師範学校の教員、幼稚園などと幅広い取り組みであった。ただ地域、経済などでの格差がかなり増大。

◎柏原；「遊び力」育成による地域貢献型保育者」の実践を通じた子育て支援

○研究の関心は、幼稚園・保育所における保育内容における「遊び」の解釈

- ・関信三の「幼稚園記」からの保育内容の変遷、保育における「遊び」の意義
- ・保育者養成教員としての「遊び」の解釈。

○「遊び」を通しての子育て支援の在り方を考えていく。

◎松川；スウェーデンの「森で遊ぼう」ムッレ；環境教育

○保育現場と子育て支援、療育センターにおける「遊び」のとらえ方の相違

- スウェーデンの「森で遊ぼう」ムッレ；環境教育
- アメリカ；オレゴン州（ヘルシースタート；国の施策；保健師が中心）
 - ・現在、日本も赤ちゃん全戸訪問（保健師・児童民生委員・子育て支援センター保育士）を実施、家族の問題をつかんで次にどのように繋いでいくのか。若年出産、経済力などから出産の時点で今後訪問指導の必要性の有無を判定。
- 子育て支援の体系
 - ・センター型：公立（保育士が中心となる）5日間
 - ・児童館型（0-18歳）；未就園、学童クラブ
 - ・つどい型：3日間（公民館）保育士
（上海の児童館）基本的には年齢別、有料（完全に無料ではない）。
子育て支援は契約や登録が必要。自由に出入りできない。

◎宍戸先生；子育て支援（歴史的関心 1990年代以降の厚生労働省：エンゼルプラン）

- 家庭的崩壊等
- 吹田市の子育て支援の体制づくりは、モデル的で充実（科研費研究）
 - ・フレーベルの「お遊戯」から学ぶことも多い。実際の取り組みから学ぶ。

2. 今後の予定

(1) スケジュールと発表者

- | | | | | |
|---|--------|-----|-------|-------------|
| ① | 7月24日 | (土) | 田岡・劉 | 大阪大学中之島センター |
| ② | 9月25日 | (土) | 石川・松川 | 龍谷大学（深草校舎） |
| ③ | 12月18日 | (土) | 浅野・宍戸 | 大阪大学中之島センター |
| ④ | 2月19日 | (土) | 柏原 | 龍谷大学（深草校舎） |

(2) 発表の方法

- ①ペーパー（A4で2枚位）でも可・パワーポイントでも可
- ②発表時間；一人45分 40分質疑応答；一つのテーマに1時間30分

書記 柏原栄子